

生産局長賞

株式会社 鐘崎^{かねざき}

～旬の地場農林水産物を食材として活用した月替わり商品（笹かまぼこ）の開発～

代表者：代表取締役社長 吉田 久剛

所在地：宮城県仙台市

構成員：従業員207名（関係者約20名）

活動開始年月日：平成13年

表彰理由

「おいしさ楽しく」を企業理念として、生産者と連携した商品開発により、地域食材の新たな需要の創出と納入先の確保による生産者の意欲向上など、地域の農林水産業の活性化に大きく寄与。

商品のパッケージやホームページなどで、具材として活用した地域食材の特性、栄養価、産地情報等をきめ細かに紹介し、消費者の理解を促進。

取組内容

1 生産者と連携した商品開発

- 宮城県内の市町村の産物とその「旬」についての情報を詳細に収集し、月ごとのサンプルを取り寄せるなど、「食材探し」を実施。
- 商品開発にあたって、県内の農協や漁協等と連携し、時には収穫体験をするなど、生産者のもとに直接足を運ぶことで、地域との交流をもちながら、月替わりで宮城県産のぎんなん、しいたけ、ほや、みょうが等の食材を具材として使用した笹かまぼこ「笹ごよみ」を開発。
- 気候条件等により生産物の状況に変化が生じるが、生産者と互いに意見を出し合いながら、より質が高く、消費者の満足が得られる商品づくりを展開。
- 生産者や地域との交流を深め、鐘崎ベル・ファクトリー（同社の販売施設）での農林水産物の直売会を開催。

2 消費者へのきめ細やかな情報提供による理解の促進

- 商品の販売にあたっては、それぞれの生産者の「努力」や「こだわり」などを消費者に伝え安心して購入してもらえるよう、使用具材の特性、栄養価、産地情報、歴史的エピソードなどをパッケージに表示して情報提供。
- 販売員には使用する具材を含め商品情報を周知し、消費者への食材情報の提供を徹底。
- 具材の生産地との交流により、地域小学校における食育活動への参画も始まりつつある。